

みくらんど

JA全農えひめ情報

2019

8
Aug.

Sep.

9



特集

全農愛媛県本部運営委員会
新体制決まる

美味絶賛



「紅まどんな」③

につぽんの果実 愛媛県産紅まどんな



▲固形量は110g、内容総量は185g。スーパーなどの一般量販店で全国展開し、オンラインショップのROJI日本橋(<https://www.roji-nhb.jp/>)でも購入可能



▲作業風景。果肉が崩れないよう、1つ1つを丁寧に手作業でカットしている

国分グループ本社株式会社

所在地 東京都中央区日本橋1-1-1
TEL 03-4276-4000
創業 1712年(正徳2年)
代表者 代表取締役会長兼CEO 12代 国分勘兵衛

「紅まどんな」に着目したきっかけは、愛媛で生果を見つけた担当者が食べてみたところ、そのおいしさに感動し商品化を進めることになりました。2015年1月に試作を開始。製造方法やカットの仕方など何パターンか試してみましたが、内皮がとても薄く、通常の柑橘のように薄皮の薬品処理ができません。外皮のみをむき、内皮は残して房をカットすることで果肉の崩れの少ない仕上がりとなりました。シロップ漬けの砂糖にもこだわり、果実の良さを一段と引き立てる淡泊な甘みの白ざら糖を使用。「紅まどんな」のゼリーのような食感とジューシーさがそのまま味わえる缶詰となっています。発売から3年を経て、シリーズの他アイテムより高め(450円・税抜)ながら、季節を問わず高級柑橘「紅まどんな」が変わらぬ味で楽しめるあつて、高い評価を得ています。

「紅まどんな」は J A全農の登録商標です！

愛媛生まれのオリジナル品種・紅まどんなは、ゼリーのようなめらかな果肉、たっぷり果汁、大玉で紅の濃い美しい外観から、贈答用に需要が高まっています。

国分グループ本社は東京に本社を置く300年以上の歴史を誇る食品の卸です。缶詰については1887年(明治20年)から販売を開始しています。現在は日本各地のブランド果実に特化した缶詰「につぽんの果実」シリーズ全18種を販売しています。そのポリシーは、他メーカーには真似のできない付加価値のある商品の開発です。

「紅まどんな」に着目したきっかけは、愛媛で生果を見つけた担当者が食べてみたところ、そのおいしさに感動し商品化を進めることになりました。2015年1月に試作を開始。製造方法やカットの仕方など何パターンか試してみましたが、内皮がとても薄く、通常の柑橘のように薄皮の薬品処理ができません。外皮のみをむき、内皮は残して房をカットすることで果肉の崩れの少ない仕上がりとなりました。シロップ漬けの砂糖にもこだわり、果実の良さを一段と引き立てる淡泊な甘みの白ざら糖を使用。「紅まどんな」のゼリーのような食感とジューシーさがそのまま味わえる缶詰となっています。発売から3年を経て、シリーズの他アイテムより高め(450円・税抜)ながら、季節を問わず高級柑橘「紅まどんな」が変わらぬ味で楽しめるあつて、高い評価を得ています。

めぐり〜ど

2019年8-9月号

CONTENTS

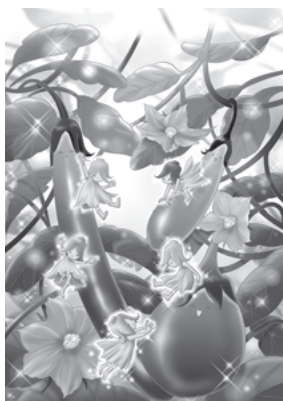
全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



デリケートな皮の表面が傷つかないようにソフトタッチで、「おいしくなあれ」と魔法をかける妖精たち。

今夜は「伊予なす」の焼きなすにしましょうか？ それとも「松山長なす」のとり〜煮物、「絹かわなす」のボリュームーなすステーキ！水分たっぷり、愛媛特産のなすを堪能して、暑い夏を乗り切りましょう。

●表紙：なすの妖精さん
はら ふみ（イラストレーター）

※『めぐり〜ど』は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）する」という意味と「心をつににする（Agreed）」という意味を込めています。

農の風景Vol.211

美味絶賛〜「紅まどonna」〜③
国分グループ本社(株)

2

〈特集〉

全農愛媛県本部運営委員会新体制決まる

菅野幸雄会長・兵頭仁志副会長が就任！

4

J A新トップ紹介

5

THE・ねっとわーく

6

グループ会社常勤役員の人事異動について／
令和元年度新規採用職員紹介

7

トピックス

8

ふるさと ESSAY VOL.279

やっぱり、牛が好き♡

高月 千賀さん

10

TOPIC NEWS

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 なす

JA全農えひめ

ホームページ
<http://www.eh.zennoh.or.jp>



■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)

<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

全農愛媛県本部運営委員会

菅野幸雄会長・兵頭仁志副会長が就任！

全農愛媛県本部（ＪＡ全農えひめ）は、6月28日に「会員代表者会」と「運営委員会」を開き、運営委員会の新体制を決めました。

菅野幸雄会長が再任、新しい運営委員会副会長にＪＡひがしうわの兵頭仁志代表理事組合長が就任しました。

運営委員会会長



菅野 幸雄（ＪＡえひめ中央経営管理委員会会長）

■略歴

- ・昭和24年生まれ
- ・昭和43年 温泉青果農協 入組
- ・平成19年 ＪＡえひめ中央 経済事業本部担当常務理事
- ・平成22年 ＪＡえひめ中央 代表理事理事長
- ・平成28年 ＪＡえひめ中央 経営管理委員会会長（現）
ＪＡ全農えひめ 運営委員会会長（現）
ＪＡ全農 経営管理委員
日本園芸農業協同組合連合会 理事（現）
- ・平成29年 ＪＡ全農 経営管理委員会副会長（現）

運営委員会副会長



兵頭 仁志（ＪＡひがしうわ代表理事組合長）

■略歴

- ・昭和25年生まれ
- ・昭和53年 野村町農業協同組合 入組
- ・平成15年 ＪＡひがしうわ 畜産部長
- ・平成22年 ＪＡひがしうわ 監事
- ・平成28年 ＪＡひがしうわ 理事
- ・令和元年 ＪＡひがしうわ 代表理事組合長
ＪＡ全農えひめ 運営委員会副会長（現）



しのはら かずし
篠原 一志

(JAうま代表理事組合長)



おか べ ます お
岡部 益夫

(JA新居浜市代表理事組合長)

運営委員



か と う たかし
加藤 尚

(JA西条代表理事組合長)



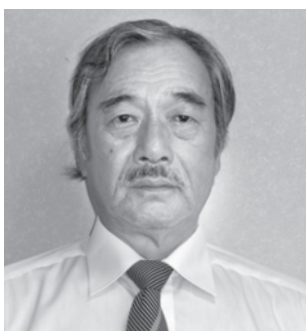
やまうち けん じ
山内 謙治

(JA周桑代表理事組合長)



くわ だ まこと
桑田 誠

(JAおちいまばり経営管理委員会会長)



おか ばやし おき みち
岡林 興通

(JA今治立花代表理事組合長)



あ べ かず たか
阿部 和孝

(JA松山市代表理事組合長)



きく ち ひで あき
菊地 秀明

(JA愛媛たいき代表理事組合長)



むら た しょう ぞう
村田 彰三

(JAにしうわ経営管理委員会会長)



やまもと な が お
山本 長雄

(JAえひめ南代表理事組合長)



にし も と みつ とし
西本 満俊

(JA愛媛中央会会長)



JAおちいまばり

経営管理委員会会長
(令和元年6月25日就任)

くわだ まこと
桑田 誠

■略歴

- ・昭和34年生まれ
- ・平成25年 JAおちいまばり経営管理委員
- ・令和元年 JAおちいまばり経営管理委員会会長



県内JA 新トップ紹介



JAえひめ中央

代表理事理事長
(令和元年6月21日就任)

ふくしま ゆきのり
福島 幸則

■略歴

- ・昭和33年生まれ
- ・昭和60年 温泉青果農業協同組合 入組
- ・平成22年 JAえひめ中央営農販売部長
- ・平成23年 JAえひめ中央総務部長
- ・平成25年 JAえひめ中央参事（管理担当）
兼総務部長
- ・平成26年 JAえひめ中央参事（管理担当）
- ・平成28年 JAえひめ中央常務理事（営農経済担当）
- ・平成31年 JAえひめ中央常務理事（管理担当）
- ・令和元年 JAえひめ中央代表理事理事長



JAにしうわ

経営管理委員会会長
(令和元年6月27日就任)

むらた しょうぞう
村田 彰三

■略歴

- ・昭和30年生まれ
- ・平成25年 JAにしうわ経営管理委員
- ・令和元年 JAにしうわ経営管理委員会会長



JAひがしうわ

代表理事組合長
(令和元年6月22日就任)

ひょうどう ひとし
兵頭 仁志

■略歴

- ・昭和25年生まれ
- ・昭和53年 野村町農業協同組合 入組
- ・平成15年 JAひがしうわ 畜産部長
- ・平成22年 JAひがしうわ 監事
- ・平成28年 JAひがしうわ 理事
- ・令和元年 JAひがしうわ 代表理事組合長
- JA全農えひめ 運営委員会副会長



JAえひめ南

代表理事組合長
(令和元年6月22日就任)

やまもと なお
山本 長雄

■略歴

- ・昭和31年生まれ
- ・昭和50年 津島町農業協同組合 入組
- ・平成21年 JAえひめ南共済部長
- ・平成23年 JAえひめ南総務部長
- ・平成27年 JAえひめ南管理本部長
- ・平成28年 JAえひめ南常務理事
- ・令和元年 JAえひめ南代表理事組合長



THE

ねつとわーく

「会員代表者会を開き
平成30年度事業を報告」

管理部

J A全農えひめは、6月28日、松山市のJ A愛媛で会員代表者会を開き、運営委員会員の選任と平成30年度の事業報告を行いました。

■平成30年度事業報告

県本部の取扱高（総供給販売高）は、全体で計画比95%の876億2,100万円となりました。総供給販売高から本部間販売・内部販売を除いた事業分量は、

783億3,700万円で計画を26億6,100万円下回りました。各部別の概況は次の通りです。

【営農食糧部】米の販売数量減少により取扱高が減少。

【園芸部】果実や野菜の数量減少により取扱高が減少。

【畜産部】西日本豪雨の影響で豚出荷頭数の減少により取扱高が減少。

【生産資材部】災害によるコンバインやトラクターの特別需要があったものの、肥料・農薬の減少、果実用・ジュース用段ボールの出荷数量減少により取扱高が減少。

【生活部】家電製品などの生活用品やメモリアル関連・食品の販売不振、賃貸や戸建て住宅が減少。

また、県本部グループ7社の売上高合計は、計画比105%の441億6,371万円となったこと等を報告しました。

同日には各連合会表彰も行われ、J A全農えひめ関係では、30年度の系統経済事業の取り組みに功績のあった2 J AとJ A職員16人を表彰しました。表彰者は左表のとおりです（敬称略）。

J A全農えひめ 平成30年度取扱高実績
(事業分量)

(単位：百万円)

部 門	計 画	実 績
営 農 食 糧 部	2,910	2,505
園 芸 部	41,893	40,979
畜 産 部	11,592	10,515
生 産 資 材 部	10,727	10,588
生 活 部	13,876	13,750
合 計	80,997	78,337

J A全農えひめグループ会社
平成30年度取扱高実績

(単位：百万円)

会 社 名	計 画	実 績
(株) え ひ め 飲 料	20,022	22,478
J Aえひめアイパックス(株)	4,109	3,593
J Aえひめフレッシュフーズ(株)	3,509	3,153
(株) ひ め ラ イ ス	4,535	4,768
J Aえひめエネルギー(株)	2,720	2,930
(株) え ひ め フ ー ズ	669	681
J A え ひ め 物 流 (株)	6,652	6,558
合 計	42,219	44,163

平成30年度 全農愛媛県本部表彰
【J A表彰】

うま農業協同組合
周桑農業協同組合

【特別功労表彰】 ※カッコ内はJ A名

藤原 政彦（周桑）	阿部 和平（おちいまばり）
吉岡 健吾（えひめ中央）	上田 又丈（愛媛たいき）
明神 秀幸（にしろわ）	濱田 延幸（にしろわ）

【優良職員表彰】 ※カッコ内はJ A・会社名

小野 由希子（西条）	二宮 正憲（おちいまばり）
矢野 俊雄（おちいまばり）	田中 拓也（おちいまばり）
山下 英治（えひめ中央）	上田 直司（愛媛たいき）
松岡 洋介（愛媛たいき）	上杉 政仁（にしろわ）
朝井 伸（にしろわ）	大内 昌憲 （株）J A東宇和サービス

グループ会社 常勤役員人事異動について

J A全農えひめのグループ会社7社は、6月19日に株主総会・取締役会を開き、新役員体制を決めました。
常勤役員の異動は下記のとおりです（カッコ内は前職）。

（株）えひめ飲料（6月19日付）

- 代表取締役社長（代表取締役専務）山本 卓治
- 【退任】高原 茂（代表取締役社長）
- 代表取締役専務（常務取締役）川田 永治
- 常務取締役（取締役兼管理本部長）道上 久司
- 常勤監査役（取締役兼製造本部長）中村 康史
- 【退任】石川 忠司（常勤監査役）
- 取締役兼営業本部長（営業本部長）芝 亮介

J Aえひめ物流（株）（6月19日付）

- 代表取締役社長（参与）高井 雄二
- 【退任】清水 宇造（代表取締役社長）

J Aえひめエネルギー（株）（6月19日付）

- 常務取締役（（株）えひめ飲料常勤監査役）石川 忠司

※J A全農えひめグループ各社の令和元年度役員体制（非常勤含む一覧表）については、10 - 11月号で掲載予定です。

令和元年度 新規採用職員紹介



はじめまして！
よろしくお願いします！

生産資材部 農機課

かわもと もと き
川本 基葵

元気な挨拶と身だしなみに気を付けたいです。また、会話をするときには、要点を捉えた分かりやすい説明を心掛けたいと思います。

生活部 生活資材課

むら た かずあき
村田 一瑛

より良い商品を組合員の皆さまに届けられるように、常に組合員サイドに立って考え、J A・メーカーと協力し頑張りたいです。

▲後列左から川本さん、中居さん、中田さん、渡邊さん、堀川さん、村田さん
前列左から城戸さん、岡田さん、和泉さん、梶原さん

畜産部 畜産販売課

なか い ともや
中居 朋也

一つ一つ仕事を確実にこなしていく中で、取引先や上司・先輩方から信頼される職員になりたいと思います。

生産資材部 段ボール工場製造課

なか た りん く
中田 輪空

日々の業務に一生懸命取り組み、専門の知識や技術を身につけられるよう頑張ります。

生産資材部 段ボール工場製造課

わた なべ ゆう き
渡邊 裕紀

一日一日を大切に、早く機械の使い方を覚えて、品質の良い段ボールを作っていきたいです。

生産資材部 段ボール工場製造課

ほりかわ こう き
堀川 滉樹

機械の知識を深めていきつつ、一生懸命業務に取り組んでいきたいです。

営農食糧部 営農支援課

き ど し お り
城戸 詩央里

1年目は様々なことを吸収し、覚える期間ですが、受け身になりすぎず、積極的に業務を行っていきたいです。

生産資材部 肥料農薬課

おかだ あかね
岡田 朱音

何事にも積極的に取り組み、たくさんの方のことに吸収できるよう、資格の取得や、専門的な知識の習得を目指します！

生活部 生活資材課

いずみ まなみ
和泉 麻菜美

たくさん吸収していけるように頑張ります！
よろしくおねがいします！

生活部 施設農住課

かじわら あやの
梶原 綾乃

早く仕事を覚え、組合員の皆さまのお役に立てるよう、精一杯頑張ります！

JA愛媛野菜生産者組織協議会 第44回通常総会 えひめ野菜の生産基盤強化と販売力強化めざす



※敬称略・カッコ内はJA名。

愛媛県農産園芸功労知事表彰

越智 友廣（うま）	酒井 優行（えひめ中央）
-----------	--------------

野菜生産改善共進会

県知事賞

重川 唯男（松山市）	鈴木 昇（うま）
戸田 公彦（周桑）	山内 国忠（周桑）

全農愛媛県本部長賞

豊田 年秋（松山市）	今岡 正則（松山市）
渡部 通孝（周桑）	八束 理恵（松山市）

協議会会長賞

武智 二三四（えひめ中央）	林 輝俊（松山市）
武田 昇一（愛媛たいき）	大北 平太（松山市）
池内 静雄（松山市）	

全農愛媛県本部長感謝状

三好 三智男（ひがしうわ）	瀧本 久志（松山市）
福田 満壽夫（新居浜市）	

指導員表彰

最優秀賞（ドリーム賞）

兵頭 俊樹（ひがしうわ）

優秀賞

矢野 努（愛媛たいき）	藤原 龍騎（おちいまばり）
-------------	---------------



▲重川唯男さん



▲戸田公彦さん

愛媛県内11JA80部会（21品目）で組織するJA愛媛野菜生産者組織協議会は、6月20日、松山市で第44回通常総会を開き、令和元年度事業計画などを決めました。

令和元年度は、「マーケットイン（実需者ニーズ）にもとづく生産振興をすすめる、生産基盤強化と持続性のある生産体制モデルの構築に取り組み」「消費拡大およびファンづくりに向け、販売協力店におけるフェアの実施、対面型消費宣伝活動の拡充と関係各所と連携した産地PR活動に取り組む」の2点を事業方針としました。

総会では、県農産園芸功労知事表彰、野菜生産改善共進会の表彰

を行ったほか、営農指導員表彰を併せて行い、最優秀賞を受賞したJAひがしうわ野村農産センターの兵頭俊樹センター長補佐による活動報告がありました。記念講演では、大果大阪青果(株)野菜部の山本尚常務取締役が「流通の現状と今後の動向について」と題して講演を実施しました。

総会最後には、「自ら生産した野菜に自信と誇りをもとう」「安全・安心に取り組み産地のブランド化を図ろう」「計画生産をすすめる活力ある産地をめざそう」のスローガンを唱和し、今後の愛媛野菜のさらなる発展を誓いました。

ふるさと ESSAY

Vol.279



やっぱり、牛が好き♡

「子牛が無事に生まれてくること」。
これは、子牛を産ませて育てる「繁殖
和牛」で一番大事なことです。

この間のことです。初産の母牛を気
にかけて、夜も様子を見に行き大丈夫
と判断して就寝。朝、牛舎へ行くと、
もう子牛の頭が出てきています。ここ
まで出ていると普通は自然に生まれて
くるのですが、子牛は舌を出し固まっ
た状態。触ると冷たく、反応がありま
せん。驚き、急いでひっぱり出そうと
しますが、出てきません。陣痛が弱く
なっていた母牛も頑張つて息んでい
て、私は半泣きになりながら専用ロー
プをつけてひっぱって、ひっぱって…。
やっと、子牛がピクピクッと反応し、
「あっ！生きとる！」。出てきた子は
うっ血していて、まるでパンチを浴び
せられたボクサーみたい。疲れ果てた
母牛から初乳だけは飲ませることがで

きましたが、その後は見向きもしない
ネグレクト（育児放棄）に。私の見極
めの甘さを反省した出来事でした。そ
の子牛も今では元気に育っています。

畜産農家の多い地元・野村町には繁
殖部会があります。5年に一度の和牛
のオリンピックの異名を持つコンテス
ト「全国和牛能力共進会」で、2012
年に良い結果を出せなかった愛媛県。
これはいけないと一念発起し、他県か
ら先生を呼び、手入れの仕方や好成績
を出すための勉強会が始まります。

「共進会に出たいけれど、うちには
出品できる牛がない」。生後8ヶ月
の子牛「まどか21」を鹿児島から買っ
てきました。いい牛を半年以上かけて、
よりいい牛に育てるために。

しばらくして「千賀ちゃん、こんな
ことしたらいけんでしょう」と怒られ
ます。買ってきたときはよかったのに、

■プロフィール■

平成4年（1992）4月9日生まれ、西予市野村町出身、在住。平成28
年に本格的に就農して3年目の肉用牛を生産する若手女性農家。祖父母、
父とともに交雑種約350頭の肥育経営と、繁殖和牛7頭、育成牛2頭の
繁殖経営に取り組む。主に繁殖部門、肥育牛の育成を担当。平成29年第
36回全農肉牛枝肉共助会（交雑種）最優秀賞一席受賞。平成30年度愛
媛県総合畜産共進会の第80回家畜改良共進会・肉用種牛の部で出品牛
「まどか21」が農林水産大臣賞受賞。

高月 千賀

TAKATSUKI CHIKA

管理が行き届いていない、と。そこから奮起し、頑張ります。「一緒に歩くよ、ずっと立るときよ」と声をかけ、腰や背中を強くし体力・筋力をつける「つなぎ運動」など、できる限りのことをして。洗って毛刈りをして小顔効果で肉づきの良さを際立たせ、いざ！県共進会（種牛の部）へ。会場ではどの牛もよく見えて、気持ちが揺らいできます。それでも部門で1位に選ばれ、さらに全部門の1位の中から、ただ1頭しか選ばれない農林水産大臣賞に輝き

ました。周りの方のサポートやアドバイスに感謝しつつ、私の中にはまぐれ感もあるのですが、いい牛が作れる自信につながり、次も頑張ろうという気持ちです。

次の共進会は11月です。今度はうちで生まれた子牛「キヨ」ちゃんを出そうと思っています。勉強会でどんどん吸収して、実践して。その分、しなければならぬことも多くなり大変ですが大丈夫です。

「牛飼いをしているも休みが取れる



▲カメラ目線も堂にいったもの。農林水産大臣賞受賞のまどかちゃんと高月さん



▲キヨちゃんのお世話をする高月さん

経営をしていかないといけないね」。周囲から聞こえてくる言葉です。家族で休みを工面しつつの経営ですが、去年結婚をして一緒にする人が増えました。一人増えると仕事量が全然違い、助かります。今後、家族が増えることを見据えて、雇用も考えなければいけません。地元畜産業界が抱える問題でもありますが、若い人が興味を持って、畜産をしてくれたらなあと思います。生き物が相手だから大変な面もありますが、牛はかわいくて癒されます。感動や喜びもたくさん味わえます。やっぱり私はどんなことがあっても、牛が大好きなんです。

第45回乾椎茸品評会

成高王洋さんが11年連続で最優秀賞！

愛媛県椎茸同志会主催の第45回乾椎茸品評会表彰式が、5月23日、大洲市のJA愛媛たいき本所で開かれました。同志会会長の成高王洋さん（JA愛媛たいき）が11年連続で最優秀賞（全農会長賞）を受賞しました。出品された春子34点から入賞12点を決めました。今年の春子の作況（四国）は、暖冬で降水量・降雪量が少なかったことが影響し、前年比75%の見込み。成高さんは、「昨年の西日本豪雨で自宅が全壊し被災を受けた。たくさんの方の支援を受けて椎茸の栽培を続けることができ感謝の気持ちでいっぱい」と話しました。

同日は同志会第47回総会も開き、2019年度事業計画などを決めました。

その他の主な入賞者は次の通りです（敬称略・かつこ内はJA名）。

▽優秀賞Ⅱ高橋征敏（ひがしうわ）、河内遼一（愛媛たいき）▽1等賞Ⅱ久保勝利（同）、大和田孝（ひがしうわ）、松本和夫（愛媛たいき）▽2等賞Ⅱ矢野欣一（同）、橋本章市（同）、高橋茂行（ひがしうわ）▽3等賞Ⅱ和氣重臣（愛媛たいき）、武田秋重（ひがしうわ）▽努力賞Ⅱ岡中勝彦（同）



11年連続で最優秀賞に輝いた成高王洋さん

労働力確保対策に関する意見交換会

農業労働力確保に向けて課題を共有

JA全農えひめ営農支援課は、松山市のJA愛媛で5月24日、「労働力確保に向けた意見交換会」を開きました。JA全農えひめ・JA・県など約30人が参加。人手不足という県内農業の課題に向けて、各JAの労働力支援の取り組みや課題を情報共有し、意見交換しました。今回は初開催です。

JA東予園芸営農事業部の飯尾エリ子課長が、昨年から外国人技能実習生6人を受け入れている同JAの選花場について事例報告しました。同選花場は、高齢化や人員不足などが大きな課題となり、外国人実習生の受け入れを決めました。住居の準備や家電製品などの事前費用もかかりましたが、実習生たちは勤勉で作業内容を覚えるのも早く、今では貴重な労働力となっています。今後は農作業実習なども行いながら、農家の労働力支援にもつなげていきたい考えです。そのほか、JA全農えひめと愛媛県で取り組む農福連携の取り組み紹介などがありました。

参加したJAからは「農繁閉期がある農業は年間雇用が難しい」や「農家の労働力ニーズが多様化し、マッチングに工夫が必要」といった意見がありました。

JA全農えひめは、各地域の労働力不足の状況を見極め、JA・県、関係機関と連携した対策について検討を行っていきます。



📷 ㈱えひめ飲料 東京工場

新ペットボトル無菌充填ライン稼働開始！ 果汁のおいしさを保った商品を製造

㈱えひめ飲料は、同社東京工場（神奈川県厚木市）に新ペットボトル無菌充填ラインを設置し、6月28日から稼働を開始しました。7月5日には、竣工神事とライン見学会を行い、関係者約60人が参加しました。

既存のラインでは中身液を高温で殺菌し、その熱で容器も殺菌するのに対し、新ラインは、殺菌後、すぐに冷却して、あらかじめ殺菌された容器に充填するため、中身液が高温状態にある時間が短くなり、より美味しいジュースを作ることができます。新ラインで製造された製品は、年間650万ケースの販売を目指します。

竣工神事後、同市内のホテルで竣工式典・記念パーティを開きました。山本卓治社長は、「今年、果汁100%ポンジュースの発売50周年を迎える。今後は、新ラインを活用したポンジュース製造など、POM製品のおいしさの追求と、地域社会、愛媛柑橘産業の振興に貢献していきたい」とあいさつしました。



新ペットボトル無菌充填ラインを見学する関係者ら



竣工式典であいさつする山本社長

📷 新任・若手TAC研修会

出向く営農担当者「TAC」 情報共有へ

J A全農えひめ営農支援課は、J A愛媛で6月21日、「新任・若手TAC研修会」を開きました。TACは、地域農業の担い手に出向くJ A担当者の愛称。「とことん会ってコミュニケーション」を合言葉に県内13 J Aで111名活動しています。この研修会はTAC活動の基本や担当者同士の相互交流を深めることを目的に毎年開催しており、J A・J A全農えひめの新任・若手TAC担当者など、28人が参加しました。

グループワークでは、「訪問先から要望を引き出すのが難しい」「担い手とのコミュニケーションの取り方がわからない」といった課題や悩みを共有。解決策を話し合い、班ごとに発表を行いました。そのほか、J A全農TAC推進課によるTACの役割や全国情勢などの報告がありました。

参加したJ Aからは「問題意識の共有ができた」「TAC活動における意識向上につながった」「同じような悩みを持つ方が多く、課題解決のきっかけとなった」といった声があがりました。

J A全農えひめ営農支援課は、J A間での情報共有や幅広い担い手ニーズに対応できる体制の構築などをめざし、研修会等を実施していきます。



グループワークで課題の共有をする参加者

第20回 JA 愛媛米麦生産者組織協議会通常総会

需要に応じた生産と品質向上を！

JA 愛媛米麦生産者組織協議会は、7月17日、松山市のJA 愛媛で、「第20回 JA 愛媛米麦生産者組織協議会通常総会」を開きました。総会には、会員20名の他、県やJA 等関係者40名が出席し、平成30年度事業報告、令和元年度事業計画・予算計画等を審議し、承認されました。

水稻においては、愛媛県米麦振興協会などの関係機関と連携し、「売れる米づくり」に向けた取り組みをすすめるとともに、県育成新品種「ひめの凛」については、生産・販売面における課題を整理し、ブランド化に向けて取り組みます。さらに、全国的に不足している中食・外食用の業務用米については、多収穫米「あきだわら」を本格的に普及、拡大していきます。また、平成30年産では「ヒノヒカリ」「にこまる」について「あきたこまち」が3回目の「特A」評価を得ましたが、さらなる「特A」評価の取得となるよう食味向上に取り組めます。

32年連続生産量日本一を誇るはだか麦については、さらなる面積拡大と収量アップに向けて、安定的な供給体制を確立していきます。また「ハルヒメボシ」については、順次種子を確保しながら切り替えを進めていくことなどを確認しました。



愛媛県民間流通地方連絡協議会

令和元年産麦 20年産以来の大豊作！

JA 全農えひめ食糧生産課は、7月17日松山市のJA 愛媛で愛媛県産麦の円滑な流通をめざし、愛媛県民間流通地方連絡協議会を開きました。

会議には、精麦や製粉、醤油・味噌関連の実需者14社・組合と生産者・JA・県関係者ら52人が出席。令和元年産麦の販売見込数量や令和2年産麦の販売予定数量および購入希望数量を確認するとともに、愛媛県産麦に対する意見交換を行いました。

令和元年産においては当初、生産者の販売予定数量4、232トンに対し、実需者からの購入数量は6、454トンと、逆ミスマッチが発生していましたが、生産者の栽培努力と天候にも恵まれ6、004トンの出荷見込となり、ミスマッチを大幅に縮小することが出来ました。

このような好結果を背景にJA 全農えひめ・愛媛県米麦振興協会では、令和2年産においても実需者ニーズに対応していくために更なる面積の拡大と単収360kg/10aを目標に収量アップを目指すとともに、有望品種の「ハルヒメボシ」への品種転換を計画的に進めることにしています。

また、愛媛県農林水産研究所からは、実需者からの安定生産・安定供給の要望に応えていくために単収向上対策として排水対策を基本に栽培のポイントの説明があり、生産者、JA、関係機関が連携して取り組んでいくことを確認しました。



愛媛県果樹同志会 第6回総会

長岡隆浩新会長が就任！

愛媛県果樹同志会は、5月17日、松山市のJA愛媛で第6回総会を開き、会長に長岡隆浩さん（南予果樹同志会・新任）を選任しました。

長岡会長は「荷の重い役職で身の引き締まる思いですが、皆さまの協力をいただきながら精一杯頑張りたい」とあいさつしました。

令和元年度事業計画では、安全・安心な果実生産体制の確立、生産基盤整備と経営改善、売れる商品とPRづくりなど、基本課題の実現に取り組むことを決めました。特に災害からの復旧・復興、隔年結果は正対策および高品質安定生産対策を最重点課題とし、愛媛県の果樹産業の発展を期すこととしています。

令和元年度のその他の主な役員は次のとおり（敬称略・カッコ内は所属同志会）。

▽副会長Ⅱ岡本武（西宇和青壮年同志会・新）、菊池美由紀（西宇和女性果樹同志会・再）、安藤信枝（えひめ中央女性果樹同志会・新）

▽監事Ⅱ松浦喜孝（西宇和青壮年同志会・再）、能田英文（えひめ中央果樹研究同志会・新）、一色百合子（えひめ中央女性果樹同志会・再）、武内千恵（南予果樹同志会・新）



左から 安藤副会長、菊池副会長、長岡会長、岡本副会長

令和元年度えひめ愛フード推進機構総会

愛媛ブランドづくりや販路開拓支援の取り組みを確認

愛媛県など行政団体、JA全農えひめ

など農林水産業団体や商工・流通団体などで組織するえひめ愛フード推進機構（会長…中村時広愛媛県知事）の令和元年度総会が、6月5日松山市で開かれ、令和元年度事業計画を決めました。

令和元年度は、昨年7月の西日本豪雨の復興に向けた観点を持ちつつ、デジタルマーケティングなど新たな手法を活用し、「かんきつ王国えひめ」の一層のPRに取り組みます。



会長あいさつをする中村知事

愛媛県くり研究同志会令和元年度総会

生産対策を最重点に取り組む

愛媛県くり研究同志会は、6月4日、JAひがしうわ城川支所で、第53回通常総会を開催しました。

開催にあたり、大野奉孝会長が



「昨年は今までにない不作となった。今年は会員の皆さんがこれまで以上に生産対策に尽力していただきたい」とあいさつしました。

総会後は、県農産園芸課果樹係の近藤俊夫係長が、昨年の不作要因の考察を踏まえ、今後の生産対策について講演・解説しました。

第35回愛媛県採卵養鶏経営者協議会総会

氏兼盛昭会長が就任！生産性の向上とブランド確立をめざす

愛媛県採卵養鶏経営者協議会は、6月20日、松山市のJA愛媛で第35回総会を開催しました。令和元年度事業計画と役員改選で氏兼盛昭会長（JAえひめ中央管内・新任）を選任しました。氏兼会長は「会の発展のために精一杯頑張りたい」とあいさつしました。

令和元年度は、①生産性向上に努めコスト削減と品質改善、②「フレッシュ卵卵（らんらん）」の系統ブランド確立に向けた推進事業の展開、③次代を担う採卵養鶏経営者のネットワークづくりと継続的な育成、④防疫・衛生管理を徹底し、安全・安心な県内産鶏卵の供給に取り組むことを確認しました。



氏兼会長

JA愛媛養豚経営者協議会第40回総会

ブランドの品質向上と 認知度向上を

JA愛媛養豚経営者協議会は、6月21日、松山市のJA愛媛で第40回総会を開き、令和元年度事業計画などが承認されました。

令和元年度は、「系統養豚生産性向上プロジェクト班」を設置し、生産性向上、肉質向上に向けた調査・研究をするとともに、農家経営の安定を図ります。さらに、「ふれ愛・媛ポーク」の品質向上・差別化を図るため農場HACCP等への取り組みや、消費宣伝活動を実施していきます。

また、総会に先立ち、優秀会員を表彰しました。受賞農場は次の通りです（カッコ内はJA名）。▽優秀会員Ⅱ(株)多田ファーム天貢農場（愛媛たいき）、(有)菊間仙高牧場（おちいまばり）、JA西日本くみあい飼料(株)愛媛養豚実証農場伊予スワインガーデン



愛媛県肉牛生産者協議会令和元年度総会

生産基盤維持と販路拡大を！

愛媛県肉牛生産者協議会は、6月25日、松山市のJA愛媛で令和元年度総会を開き、令和元年度事業計画などが承認されました。

令和元年度事業方針では、防疫・衛生管理の徹底と生産履歴の明確化により、安全・安心な伊予牛「絹の味」を生産。県内消費者にアピールするとともに販路拡大に取り組みます。また、県内の繁殖農家・肉牛農家の相互連携と生産意欲の高揚を図るため、婦人交流会を開催します。

なお、総会に先立ち、優良生産者を表彰しました。受賞者は次の通りです（敬称略・カッコ内はJA名）。▽優良生産者Ⅱ池田一成（えひめ南）



第2回愛媛県JA-SS推進協議会総会

お客さまから支持される 店づくりへ！

愛媛県JA-SS推進協議会（メンバー36SS）は、5月28日松山市のJA愛媛で第2回総会を開きました。

大会には、JAの部課長やSS所長・担当者などが参加。地域ライフライン網の維持強化や、営農用燃料の安定供給・コスト競争力強化への取り組みなど、令和元年度の事業計画を決め、大会決議を採択しました。

なお、総会に先立ち、優秀SSの表彰も行われました。受賞者は次のとおりです。

【総合表彰】(株)JA東宇和サービス野村中央SS【特別表彰】JA愛媛たいきオズメッセセルフ





「フレッシュ市部会」総会
地産地消の推進・地域貢献に向けてチャレンジ！
 5月22日、「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」の直売所出荷者で組織する「フレッシュ市部会」が第22回の総会を開きました。平成30年度の活動報告・会計報告を行い、令和元年度活動計画・予算計画など提案した全議案が承認されました。
 令和元年度活動方針では、魅力ある商品づくり、豊富な品ぞろえにより消費者に支持される売り場づくりを目指すほか、総合的な食品安全保障を確立していくことなどを確認しました。「近くて便利な地域コミュニティ」として、地域に密着した直売所を目指していきます。



また、JA全農えひめ畜産部は、「ふれ愛・媛ボーク」を賞品として提供しました。



媛ボークランナーズ



JA全農えひめマラソン部

第6回えひめ5時間リレーマラソン
走る広告塔として力走！
 JA共済が特別協賛した「第6回えひめ5時間リレーマラソン」が、6月8日、ニンジニアスタジアムで開かれました。4〜10人でチームを作り、1人1周（1・25kmのコース）以上走って次走者にリレーし、5時間の周回数を競いました。県内JAグループからも多くのチームが出場し、大会は盛り上がりま



お知らせ

令和2年度 愛媛県立農業大学校学生募集

科名	コース	修業年限	学生定員	入学資格
総合農学科	農産園芸コース	2年	55人	- 高等学校又は中等教育学校を卒業した者（令和2年3月に卒業見込みの者を含む） - 知事がこれらの者と同等以上の学力を有すると認めた者
	果樹コース			
	畜産コース			
アグリビジネス科	リーダー養成コース	2年	10人	- 都道府県立農業者研修教育施設養成部門（農林水産大臣と協議して設置されたものに限る）を卒業した者（令和2年3月に卒業見込みの者を含む） - 専門学校、短期大学、大学を卒業した者（令和2年3月に卒業見込みの者を含む） - 知事がこれらの者と同等以上の学力を有すると認めた者

令和2年度入学試験日程

総合農学科

推薦入学試験 【受付期間】 令和元年10月2日(水)～10月16日(水)
 【試験日】 令和元年11月5日(火)

一般入学試験 【受付期間】 令和元年12月10日(火)～12月24日(火)
 【試験日】 令和2年1月22日(水)

アグリビジネス科

【受付期間】 令和元年12月10日(火)～12月24日(火)
 【試験日】 令和2年1月23日(木)

お問い合わせ

愛媛県立農業大学校 教務担当
 〒791-0112
 愛媛県松山市下伊台町1553番地
 TEL (089)977-3261
 FAX (089)977-5410

「農の風景」を読んで。「おやき」をいただいたことがあります。しっかりと甘すぎず、香りも良く美味しかったです。「おやき」をきっかけに多くの人が、地元野菜に興味を持ててもらえればいいと思います。

今月の表紙が夏らしくていいですね。家庭菜園程度ですが、私の家でもナス、トマト、きゅうり、しし唐を栽培しています。消費に追われる毎日が楽しみです。

(四国中央市・白石 真鈴さん)

「JA全農えひめ親子料理教室」を読んで。親子で地元の食材を使用してお弁当作りをする姿を見てとてもいいなあと思いました。私は地元の魚や肉、野菜が大好きですので、掲載されているレシピを作ってみようと思います。

(今治市・織田 留瑚さん)

エッセー、とても感動しました。若い女性の方が、次女でありながら4姉妹ということで家業を継ぐようになり、生き物相手に大変だと思いがすが

応援したい気持ちでいっぱいになりました。このような、「夢」とか「仕事」とか感動できる「ふるさとエッセー」をたくさん読みたいです。

(内子町・幸山 春美さん)

畜産業の盛んな町に育っても、なかなか牛農家になる女の子はいません。エッセーを読んで、朝ドラ「なつぞら」のヒロイン「なつ」を思い浮かべました。一日中大変なお仕事だと思いますが、立派な牛を育てるために頑張ってください。

(今治市・岡田 絹枝さん)

6-7月号のお料理コーナー、「ミニトマト」を読み、早速作ってみました。我が家では、4、5年前から「凜々子(りりこ)」というミニトマトを栽培しています。周ちゃん広場に出荷していますが、ぜひ皆さんにもっとミニトマトをいろんな調理法で食べてみてほしいと思います。

私たち女性部では、周ちゃん広場で、さといも「伊予美人」のコロッケなど

を毎週金・土・日に販売しています。「伊予美人」のコロッケは大好評です。お客様の「美味しい」の一言を元気の源に、女性部のみんなで頑張っています。

(西条市・高橋 千代美さん)

お知らせ

読者名簿更新について

JA全農えひめ情報誌「あぐり〜ど」は、愛媛県内JAの役員(非常勤理事・監事含む)・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

読者名簿の更新を随時行っています。名簿更新により、新たにお届けの方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

今月号からお料理コーナーを学校法人愛媛学園の門田先生が担当していただきます。撮影後に、今回のなすのお料理を味見させていただいたのですが、思わず「美味しい〜><」と叫んでしまいました。特に「なすと豚肉のエーグル・ドゥース」。調味料にチョコレートが入っているのですが、しっかり後味にチョコレートの風味が。これがまた美味しい。仕事中大したこと忘れ、無我夢中でもぐもぐタイム。夏野菜の美味しい季節ですね。ぜひ皆さんもご自宅で挑戦してみてください。

(有紗)

今月のクイズ

「とことん会ってコミュニケーション」を合言葉に地域農業の担い手に向くJA担当者の愛称はアルファベット3文字で何というでしょう。(ヒント：研修の様子を「トピックニュース」で紹介しています)

「〇〇〇」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2019年9月15日(当日消印有効)

発表

「あぐり〜ど」10-11月号で発表します。

当選者発表

6-7月号の答えは「(愛媛) さといも(広域選果場)」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10名の方に図書カード1,000円分をお送りします。

佐伯 精一さん(四国中央市)
村上 瞳さん(今治市)
乾 律子さん(今治市)
武智 愛美さん(今治市)
道休 知江さん(松山市)
亀田 均さん(伊予市)
伊達ゆき子さん(内子町)
大本 昭裕さん(大洲市)
久保 文子さん(八幡浜市)
石田 律子さん(宇和島市)

NOW NOW

COOKING

今月の素材

なす (長なす系統)



約40cm、背高のっぽの松山長なす
皮は薄くて、トロリと甘いべっぴんさん

▶(右) 煎なすと豚肉のエーグル・ドゥース、(左) 煎なすのスパゲッティ・ボロネーゼ、(後) なすとささみのピリ辛タレ



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 実習科 主任 門田 尚人先生

なすとささみのピリ辛タレ

〈材料・4人分〉	※1人あたり約199kcal
長なす	1本
鶏ささみ	2本
きゅうり	1本
塩	適量
鶏ガラスープ(顆粒)	200cc
揚げ油	適量
ラー油	小さじ1/2
タバスコ	適量
赤味噌	大さじ1
濃口醤油	大さじ1
酢	大さじ2
砂糖	大さじ2

〈作り方〉

- ① ささみはスジをとり、軽くたたいて繊維をほぐす。
- ② フライパンに鶏ガラスープを入れ、①を重ならないように並べ、沸騰したらフタをして火を止め、3分程度蒸す。
- ③ なすは3cmの長さのくし形に切り、すぐに180℃の油で素揚げをする。
- ④ きゅうりは皮をむき2cmの乱切りにし、塩もみする。
- ⑤ ④を合わせ、ボウルにひと口サイズに切った②と、③と④を入れ、絡め合わせる。

なすと豚肉のエーグル・ドゥース

〈材料・4人分〉	※1人あたり約399kcal
長なす(乱切り)	1本
豚肉(こま切れ)	240g
ニンニク(薄切り)	1/2片
玉ねぎ(くし切り)	小1個
パプリカ赤(乱切り)	1個
青ネギ(3cm切り)	6本
オリーブ油	大さじ2
赤ワインビネガー	30cc
ビーフコンソメ(固形)	3個
水	150cc
④ トマトジュース	60cc
④ はちみつ	30cc
④ 板チョコレート	15g
塩・コショウ	適量

〈作り方〉

- ① フライパンにオリーブ油、ニンニク、玉ねぎ、なす、パプリカの順に炒め、豚肉を加える。
- ② 豚肉に火が通れば、④を加え、とろみがつくまで煮込む。
- ③ 火を止めて、④を加えて溶かし込み、塩・コショウで味を調える。
- ④ 青ネギをちらす。

※材料のビーフコンソメは、市販のフォン・ド・ヴォーなら、なお良い。

長なすのスパゲッティ・ボロネーゼ

〈材料・4人分〉	※1人あたり約429kcal
長なす	2本
揚げ油	適量
スパゲッティ	200g
玉ねぎ(みじん切り)	1/4個
人参(みじん切り)	1/4本
オリーブ油	適量
ミートソース缶	1缶(290g)
④ トマトケチャップ	大さじ3
④ 塩・コショウ	適量
④ 砂糖	適量
④ 粉チーズ	適量
④ パセリ(みじん切り)	適量

〈作り方〉

- ① 長なす1本は皮をむき、ピーラーで薄くスライスして、千切り。
- ② もう1本の長なすは筒切りで180℃の油で素揚げ。
- ③ 玉ねぎと人参をオリーブ油で炒め、④を加え、煮込む。
- ④ スパゲッティを湯がく。1分前に①を入れ、ザルに打ち上げ盛りつけ、③のソースをかけて②をちらす。
- ⑤ 粉チーズとパセリをふる。

果汁30% **POM**
ポン
スパークリング

ポンジュースのパッケージを生かした
デザインにリニューアル!

長年柑橘のおいしさに「まじめに」向き合ってきた当社が検討に検討を重ねてできた
ポンスパークリング。
濃厚でさわやかな果汁のおいしさが
炭酸飲料でお楽しみいただけます。

株式会社 **えひめ飲料**

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

<http://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <http://www.pom-j.com>

組合員の皆様へ

JAでお家!

新築・リフォーム・各種お困りごとなど
お家のことなら
JAになんでもご相談ください。



お問い合わせ・お申し込みはお近くのJA支店・支所へ

JA全農えひめ 生活部 施設農住課
TEL (089) 909-9466

JA/JA全農えひめ

あなたの人生で支えられた1曲を
リクエストしてください
link@joeufm.com

JA全農えひめPresents
Support
Music

JA全農えひめ協賛FMラジオコーナー
FM愛媛
毎週月曜日「Groovy Radio Caravan」内
14時10分頃～(5分間)



ehimenosyoku

「えひめの食」Instagram
Follow Me!



あぐり〜どはWEBでも読めます

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

VOC
FREE

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの
インキを使用して印刷しました。

UD
FONT